

神奈川大学創立90周年をお祝いする 神奈川大学山岳部&神奈川大学学士山岳会のG&G計画記念事業

# 神奈川大学創立90周年記念遠征 マナスル遠征登山隊計画書

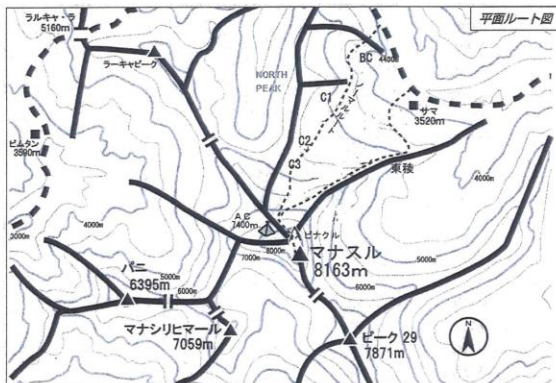


Photo by Ngima Sherpa

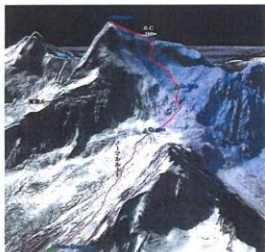
## ■登山の概要

ご承知の通り、マナスルは戦後間もない日本が初登頂した唯一の8000m峰である。横 有恒隊長率いる日本山岳会第3次遠征隊の今西壽雄とシェルバ ギャルツェン・ノルブが1956年5月9日に成功している。

今回挑戦するのはこのルートとほぼ同じくマナスル氷河左岸を辿るノーマルルートで、BCから上部にC1〜C3、ACと4か所のキャンプを設けてピナクル下のAC(7400m)より頂上アタックを仕掛ける。隊員構成が60代4名、30代1名20代学生1名というシルバー中心構成のため、酸欠はC2(6400m)睡眠時より使用し、C3(6900m)からは行動時、睡眠時に使用する予定である。



■平面ルート図&立体ルート図



蛭ヶ岳山荘管理人 樋詰順郎さん

## ■隊員名簿 (6名)

名管隊長：落合正治 (オチイ マサジ)	69歳	担当：渉外、統括、保険	S46 経済卒
隊長：江崎幸一 (エサキ コウイチ)	67歳	担当：渉外、登攀	S50 電気卒
隊員：小松廣美 (コマタ ヒロミ)	67歳	担当：会計、食料	S50 電気卒
隊員：樋詰順郎 (ヒゲツ ノブ)	67歳	担当：医療、気象	S50 経済卒
隊員：宮守健太 (ミヤモリ ケンタ)	36歳	担当：装備、輸送	H16 生物卒
隊員：畠山政大 (ハタヤマ マサヒ)	21歳	担当：記録、各担当補	英翻英文科4年

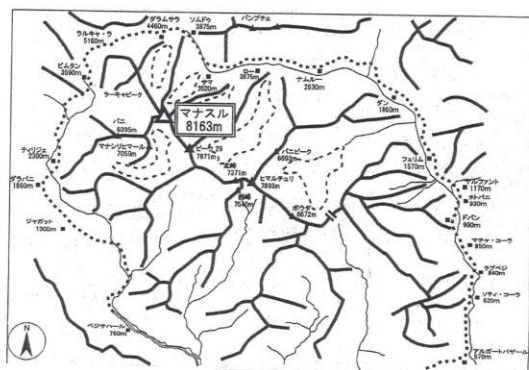
■隊員構成 名管隊長1名、隊長・登攀隊長1名、隊員4名、リエゾンオフィサー1名、サードー1名、クライミングシェルパ5名、コック1名、キッチンポーター3名

■現地エージェンツ Nireka Adventures (Pvt) Ltd. Bahthratene Kathmandu Nepal  
+977(0)15203516 E-Mail [info@nirekadventures.com](mailto:info@nirekadventures.com)

## ■山城概要

マナスル峰はネパール連邦民主共和国の北緯28度33分、東経84度34分に位置し、ヒマラヤ山脈に属する世界第8位、標高8163mの山で、山名は「精霊の山」を意味しており、サンスクリット語の「知性」や「魂」を意味するマナサー (Manasa) に由来する。地元民の信仰の聖地であった。

初登頂は1956年5月9日、戦後復興間もない日本山岳会第3次隊によって、後のノーマルルートとなる北東面から今西壽雄とシェルバ ギャルツェン・ノルブによって登られた。



## カンパのお願い

蛭ヶ岳山荘の管理人である樋詰さんが神奈川大学創立90周年記念遠征でマナスル遠征登山隊に参加します。

カンパにご協力いただける方、どうぞよろしくお願い致します。

入金先は郵便為替 蛭ヶ岳山荘友会の口座宛に「マナスル遠征隊宛」とご入力お願いします。

口座番号：00270-5-12716 口座名義：蛭ヶ岳山荘友の会